

長年にわたり、社会の変化に対応しつつ、着実に活動をしている事例をご紹介します!

会食会ボランティア 白幡こぶしの会

白幡こぶしの会は、白幡南町のエリアで、65歳以上の一人暮らし、日中独居、高齢者のみの世帯を対象に、毎月1回会食会を開催している団体です。神奈川区の木「こぶし」から名前をとり、平成4年から始めて30年以上活動しています。

旬な食材を使い、季節感のある料理は参加者からも好評です。また、誕生日月にお花をプレゼントしたり、新年会に脳トレ・雑学等をまとめた手作りの冊子を配布したりと、参加者に楽しんでもらう工夫もしています。

スタッフからは、「自分のできる範囲・役割で、楽しく活動できている」「美味しいと言ってもらえるのは嬉しい」「楽しみと待っていてくださる声を励みに活動しています」などの声があがっています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、現在は、会食会ではなく、配食を実施しています。会食会を再開してほしいという要望もありますが、継続できるやり方を参加者と一緒に模索しながら、活動を継続しています。



特定非営利活動法人 くじらぐも

特定非営利活動法人くじらぐもは、こども達の健全育成に向けて、関係者が集まって、制度のはざままで悩んでいる方を支援するために活動している団体です。小学校1年生の国語の教科書に掲載されている「くじらぐも」から、「子ども達の夢をいっぱい乗せて 空高く舞い上がれ」という想いを込めて「ぐりとぐら」でお馴染みの中川李枝子先生と光村図書出版の認証の下、名付けられました。

活動が始まったのは今から50年前まで遡ります。カウンセラーの仕事をしていた設立者が、子育て中の母親から悩みを聞きアドバイスをしたり、一時的に子どもを預かったりしたのが原点となっています。

活動の一つである相談事業では、発達障害や不登校、ひきこもりなど困難を抱えた親子等を対象に、各分野の専門家と連携しながら、あらゆる相談に対応しています。当事者(親子と学校等)同士が話し合うことでは円満な解決が難しい場合、中立の立場で間に入り(リエゾン支援)、場合によっては1年以上関わりながら、より良い改善策を見出していきます。



ホームページは
こちら

他の活動紹介は
こちら

1人の100歩より 100人の1歩

